

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

9
平成 8年
(1996)
月号
NO.478



拝啓 天國へ旅立ちもうすぐ一年になりますね。生前、親子での朝日登山を計画していましたが、叶わなかつたその夢を町民登山で果たしに行つてきました。

父さん、甘い考え方や安易な妥協は許さない強烈な精神力を学びました。登山も人生行路と同じであると痛感したほどです。ブナ林の急な坂道や小朝日の荒々しい岩壁で、みんなで励まし助け合う姿に感動しました。

お盆の疲れと前日の睡眠不足で鳥原までかなと思いながらも、真夏の残雪や名も知らぬ可憐な草花にグイグイ引き付けられ、気が付ければ大朝日の山頂に立っていました。大自然のすばらしさとたくさんの山の魅力を教えてくれてあります。

人生に喜怒哀樂はつきものですね。登山で学んだことを心の糧にして、どんな苦しみにも負けず苦勞も心の財産として生きていくこうと思います。

・夏雲や稜線結ぶ人の列
・亡き夫の夢登山して夏終わる

松程 阿部トシ子

ひとみ

出席者



海野 健市さん
(能中・41歳)

団体職員



菅井 政子さん
(沼向・38歳)

主婦



司会
遠藤由美子
広報委員
(舟渡・33歳)

■司会 8月に行われました「りんごの町の夏祭り」の成功おめでとうございます。これは今までのような行政主体の企画、運営ではなく、町民の方たちだけで組織した「まちづくり実行委員会」が中心となり開催したと

町はお金を、わたしたちは 知恵と力を出しあつた

聞いております。
本日は実行委員のみなさんに
お集まりいただき、夏祭りを開催するにいたった動機や感想、
これからイベントを含めた町づくりについて話し合っていた
だきます。

広報 座談会

イベントに新しい風 みんなの力と流した汗が町を変える

八月に開催された『りんごの町の夏祭り』は、町内外から約千五百人が参加し盛大に終了しました。

参加して「あれ、いつものイベントと雰囲気が違うぞ?」と思われた方もいるはずです。このイベントは企画、運営まで全てを町民の方たちで組織した『まちづくり実行委員会』が中心となり開催した初めてのイベントなのです。

今回は、「まちづくり実行委員会」の皆さんにお集まりいただき、夏祭りを開催した動機や感想、これからイベントを含めた町づくりについて話し合っていただきました。



須貝智郎コンサートは、みんなの心がひとつになりました

■司会 須貝智郎コンサートは、みんなの心がひとつになりました。

先に開催されていた、女性たちの井戸端会議でも同じようなことが話されていたので、町でも検討していくべき結果、何かをやってみようということになりました。

■海野 昨年、三十歳台の男性を集めた、まちづくり検討会が開催されました。話し合いの中で「イベントは行政主体より、町民主体の方がおもしろく開催できる。町はお金だけを出して、町民に任せせてみたらどうか」という意見がありました。

苦労が苦労でなくなつた時、みんなの心がひとつになつた

■司会 そうすると、みなさんには日頃から何か活気ある催しをやりたいという熱い思いがありますね。それが今回の夏祭りという形で実現したのですね。でも、企画や準備などいろいろ苦労したでしょうね。

■海野 開催まで実行委員会は七回行いました。初めは何かをやろうと思う気持ちが漠然としたものでしかなく、具体的なことはなかなか決まりませんでした。みんなが初めてですから

渡辺 裕一さん
(大谷二・37歳)

会社員

長岡 裕二さん
(沼向・36歳)

農業

大井 秀子さん
(常盤・32歳)

会社員

しかし、いざ町民だけでの実施となるといろいろな問題があり、一度は消滅寸前までいきましたが、つぎはぎだらけでも失敗を恐れず行動を起こしてみようということで、まちづくり実行委員会を組織し、みんなで夏祭りを開催しようということになりました。

対象にした女性の井戸端会議が開催されました。会議では朝日町の良いところ、悪いところはどこなのか話し合いをしました。結局、朝日町の良いところをはじめに夏祭りを開催しようと思った動機をお話ください。

■海野 昨年、三十歳台の男性を集めた、まちづくり検討会が開催されました。話し合いの中で「イベントは行政主体より、町民主体の方がおもしろく開催できる。町はお金だけを出して、町民に任せさせてみたらどうか」という意見がありました。

■菅井 わたしが感じていることは何か誇れるものを創つていこうということになりました。それが夏祭りにつながったのだと思います。

■大井 昨年の八月に既婚者を対象にした女性の井戸端会議が開催されました。会議では朝日町の良いところ、悪いところはどこなのか話し合いをしました。結局、朝日町の良いところを

子供たちに胸を張って話すには、何か誇れるものを創つていこうということになりました。それが夏祭りにつながったのだと思いません。

■長岡 朝日町は、ダム祭りが無くなり活気が無くなつたと思っています。もちろん各集落での夏祭りはありますよ。

しかし、町民が一堂に集い楽しんだり、騒いだりすることができなくて寂しい感じがします。祭りをして、みんなでわいわい騒ぎたいと思いましたね。



活発な意見が出された座談会

具体的なことが決定し、開催

人が近づくにつれて「やつてやるう」という気持ちと、「本当に人が集まってくれるのだろうか」という不安が、みんなの心の中で交差していたようです。

■長岡 わたしはアトラクションを担当しました。やはり人を集めるためににはどうするかを重

的には、子供を集めるのが一番だということになりました。子供が集まれば、父兄たちも自然と

集めましたね。それと同時に話し合いました。それは、子供を集めるのが一番だということになりました。子供が集まれば、父兄たちも自然と

集まります。

■渡辺 会議を重ねるごとに今まで顔も知らなかつた人と知り合いになり、ひとつにまとまっていく感じがしました。いろいろな人が集まれば、おのずといいアイデアが生まれるものですね。

■大井 そうですね。わたしも同感です。学生時代の文化祭を思い出しました。あの雰囲気を私たちだけでなく、もっと多くの若者にぜひ味わってほしいと思いました。

フリーマーケットは、新しい収入と交流が生まれる場

■司会 それではイベント全般についてお願ひします。

■菅井 初めてのフリーマーケットでしたが、全般的に好評だったと思います。二十店が出店しましたが、家庭で必要が無くなつた日用品や衣料、農産物などが売り出され盛りだくさんの内容だつたと思いました。

特にわたしは、手作りリース（木の枝や実、野草などを利用し装飾した花環）の店が気に入りました。自分の趣味が活かせます。また、お客さんがリースに興味を持ち、作り方を教えて

もらうなんて最高だと思いました。

■長岡 フリーマーケットはお金を通しての交流ですが、それがきっかけになりある日突然町で会つた時には、気軽に声をかけられるじゃないですか。それが朝日町だけのフリーマーケットの特権のような気がします。

■司会 出店者に子供会の参加があつたと思ったのですが。

■渡辺 大谷の田中子供会で育成委員をしていますのでお話ししますと、各家庭から三点ずつ出品してもらいました。



毛皮のコートが激安で売られていました

正直な話、こんなものも売れるのかなと思う物もありました。が完売でした。売上金が廃品回収よりも多かつたのには驚きました。

それが新たな発見につながる大切なのは続けること、

■司会 そうですか。子供会活動の新たな発見ですね（笑）。ところで参加者の年代はどうだつたんでしょう。

■海野 子供向けのアトラクションを用意したからなのか、若者の参加が少なかつたと思いました。やはり若者たちは、イベントにあまり興味がないのでしょうか。

■渡辺 いや、そんなことはないと思います。先日山形市で開催されたフリーマーケットは、高校生や大学生たちであふれていました。

■大井 今回は子供向けのイベントを開催した訳ですので、しかたがないと思いませんけれどもね。次に開催するときは、若者向けのイベントを開催してみたいですね。

■長岡 例えば、夜が大好きな若者のための夜祭り。コンサートや花火大会など何でもいいんです。他にはモータースポーツなんかが熱く燃えそうですけどね。

■司会 若者のイベントといえ

したね。機会があれば、他の子供会も出店してみてはいかがでしょうか。



アトラクションの大ジャンケン大会は子供たちでいっぱい

ば、白鷹町で開催しているアジア国際音楽祭は素晴らしいですね。これも町民の実行委員会が中心となり開催していると聞いています。

白鷹町では町民はもちろんですが、町職員の方も一町民となって参加しているようです。朝日町も町民の人が持つていて情報と、町職員の方が持つていて情報を出し合えば、もつと良いアイデアが生まれてくるのではないか。』

自分が楽しくなければ
何をするにもおもしろくない

■司会 最後にイベントを通して
た町づくりの抱負をお聞かせく
ださい。

■渡辺 北部地区と三つに分かれていますよね。その三つの地区を利用したイベントの開催がおもしろいのではないでしようか。国体のように毎年に会場を変えて開催すれば、にぎやかにしようともおもしろい企画が生まれるかもしれませんし、町全体に活気が出てくるかもしれません。

■菅井 朝日町は、これだとい

う特色が無いように感じられます。イベントでもなんでもいいのですが、特色ある町にしてみたいものです。

■ 大井　たいていのイベントは休日に開催されています。現在の町民バスは休日運休になっていますので、交通手段の無い人たちは参加することができません。イベントの時だけでも無料バスを運行するなどの、町民に対するきめ細かいサービスをお願いします。

■長岡 私生活や町づくりでも

■ 海野　自分たちで企画をして、いろいろな不手際がありながらも全員でカバーしあい、成し遂げた時のあの感動が忘れられません。このイベントが一回で終わることなく来年、再来年と開催され、最後には伝統になるようにしていきたいと思います。

そして何事においても前向きに行動し、活気ある町にしていきたいと思います。

■ 司会　これからも皆さんの熱意を町づくりに活かしてください。本日はお疲れのところありがとうございました。

会の事務局を企画課にしていただきました。次回は町職員が事務局だけではなく、一町民として、実行委員としての積極的な参加をお願いしたいですね。

■渡辺 大谷の風祭りのようないい人が集まる活気ある祭りをやりたいですね。やはり伝統が人を集めます。継続性が必要です。一回で終わる事なく、またやりたいですね。これで終わつてしまえば、この夏祭りの意味が無くなってしまいますからね。



実行委員の皆さん

町に降電被害の 栃木県那須大谷開拓農業

お見舞金百万円

協同組合より



渡辺組合長より清野町長へ手渡されました

栃木県の那須大谷開拓農業協同組合より八月十二日、町に七月三日に見舞われた農作物の降雹被害のお見舞金として、百万円をいただきました。

町では、協議の上有効に活用させていただく予定です。ありがとうございました。

◆那須大谷開拓団

この日は組合長の渡辺保友さんが役場を訪れ、「故郷朝日町が降雹による農作物被害が大きいと聞いています。すこしでもお役に立てるよう」と百万円のお見舞金を申しでられたものです。

約一ヵ月後、ようやく那須高原に千二百四十ヘクタールという広大な土地を見つけ、同年十二月上旬先遣隊を送った。数々の悪条件と目前に立ちはだかる厚い壁を不屈の“開拓魂”と徹底した相互扶助の精神でのりこ五十頭を導入し、酪農主体の経営に切り替える。

現在は、七十四戸のうち三十戸が酪農家。約千五百頭の牛を飼育し、年間約七千五百トンの牛乳を出荷している。



区民念願の

町道前田沢下芦沢線完成

安全祈願祭・開通式

宮宿と下芦沢を最短で結ぶ町道前田沢下芦沢線が完成し、8月8日に交通安全祈願祭と開通式が行われました。

式典には清野町長をはじめ、関係者約70人が出席。神事で交通安全を祈願した後、花火を合図にテープカットを行いました。引き続き斎藤寒河江警察署朝日交番所長が運転するパトカーを先導にパレードが行われ、開通を祝いました。

これまでの道路は、幅員が狭く急勾配のため、町で昭和51年から整備を進めてきたもので、この度完成した道路は延長2,880㍍、幅員4㍍で総事業費約56,335万円です。

下芦沢区長の大滝紀一さんは「区民念願の道路が完成しました。買い物や医療機関の受診にも大変便利になります」と話していました。



ありますか 心にゆとり思いやり

交通安全祈願祭・交通安全キャンペーン

明るいやまがた夏の安全県民運動期間中の8月11日、交通安全祈願祭がコメリハードアンドグリーン宮宿店駐車場で行われました。

これは、7月31日に発生した小学生の交通死亡事故や、8月に入り町内で車による交通事故が多発していることから行なったものです。

当日は、交通安全協会、安全運転管理者協議会連合会、交通安全母の会員ら約40人が出席し、清野町長や江波寒河江警察署長らが玉串を捧げ、交通安全を祈願しました。

また、祈願祭終了後、和合選果場前において交通安全キャンペーンが行われ、冷たいジュースやうちわなどをドライバーに手渡し、シートベルト着用や暑さによるぼんやり運転、いねむり運転の防止を呼びかけていました。

早朝練習
ごくろくさまでした

金賞 受賞おめでとう！

西村山消防操法大会

有事に備えたポンプ操法技術の向上を図ろうと八月四日、消防協会西村山支部の操法大会が寒河江市陵東中学校グラウンドで行われ、日ごろの成果を競い合いました。

毎年開催されているもので、町から出場したのは自動車ポンプの部、小型ポンプの部とともに三の一（大谷）が出場。指揮者の「操作始め！」の合図で機敏なポンプ操法を披露し、両部門とも見事紫色竿頭綬（金賞）を受賞。応援にかけつけた消防団員から盛んな拍手を受けていました。出場選手は次のとおりで

リ	補欠員	3番員	2番員	1番員	◆ 小型ポンプの部	リ	補欠員	4番員	3番員	2番員	◆ 自動車ポンプの部
畠	長岡	藤田	鈴木	白田	白田久美雄	渡辺	白井	長岡	早坂	小野	川村志藤幸広
英俊	泰徳	康徳	征司	信一	健一	健充	啓一	健仁	幸次	康次	廣



3の1の出場選手のみなさん



深沢雅姫ちゃん
(西船渡・雅人)



佐藤孝則くん
(大滝・武士)



清野詩織ちゃん
(西町・穂一)



遠藤知佳ちゃん
(真中・知春)



鈴木美里ちゃん
(松程・敏一)



白田瑞紀ちゃん
(大谷一・運吉)



清野 愛ちゃん
(元町・浩)



多目的施設 大谷往来館が完成

北部公民館跡地に整備が進められていた、大谷往来館がこの度完成しました。この施設は消防団詰め所や公衆トイレ(身体障害者用付き)、通勤通学のための待ち合い所、青年団、連合区の事務所などを兼ね備えた多目的な施設です。

総事業費は約2,000万円。その内、地元から500万円の寄付をいただき整備されました。

9月15日は敬老の日 敬老の心を次の世代に

老親の扶養のことで家庭内でごたごたが起こるのは、一般に親子間の不和が多く、また病弱で養護に手間がかかるなどが原因です。

しかし、高齢者の方にも問題があります。定年退職により職場からの離脱や、子育てからの解放などによる生きがい感の喪失、ともすれば自己中心となり周囲との間に摩擦を起こす原因となっているなど、反省すべき点もあります。

最近は主婦の働く機会が多くなり、家庭で世話を介護することができなくなっている場合が多い状況ですが、この問題はいずれ老人になる私たち全員の問題なのです。高齢者の苦労によって、現在の平和で豊かな社会が実現されたことを忘れずに、敬老の心を次の世代に引き継ぎたいものです。

家庭や社会全体が温かい心遣いで接することが、より大切なのではないでしょうか。

ゼロ わたしたちむし歯0だよ

8月1日に行われた3歳児健診で、次の9人の子供たちが一本も虫歯のない、虫歯ゼロ賞に輝きました。おめでとうございます。これからもしっかり歯をみがいてね。



ステージに上がり熱唱しました

後みんなの

か

になつた

の夏祭り

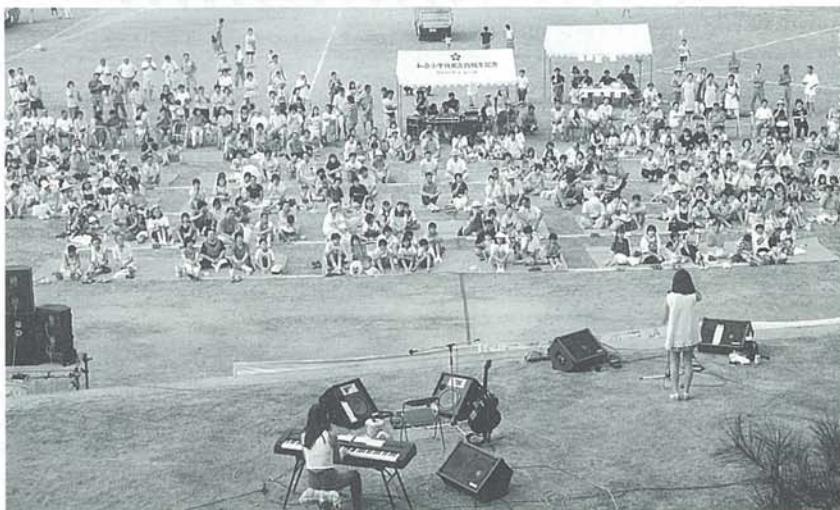
りんごの町の夏祭りが八月一日、緑ヶ丘グラウンドで行われました。強い日差しが照る中、町内外から約千五百人が参加。フリーマーケットでは二十店舗が出店し、農産物や日用雑貨、手づくりのリースなどが売り出されました。参加者は、フリーマーケットの醍醐味である「値切り」の交渉や、出店者の「押し売り？」に困った顔をしながらも、目当ての品を見つけ買い



女性に大人気の手づくりリース（北村淑子さん製作・夏草）



スキーセットはあっという間に完売



蛇の目傘ファミリーコンサート。AKEMIさんの心温まる歌です



特賞自然観の利用券が当たる大抽選会
今にも子供たちがステージに乗り出しそうです



ごの町の夏ま

須貝智郎コンサートではまちづくり実行委員会の方たちも



双眼鏡が当たる大ジャンケン大会。双眼鏡はもうすぐだ！

暑い夏の午

がひとつ



りんごの田



須貝さんの歌と語りに
観客は酔いました



初めて馬に乗りました。ちょっとこわいよ～

物をしていました。子供向けアトラクションでは、賞品に天体望遠鏡が用意された朝日町縦断ワゴンや大ジャンケン大会などが行われ、白熱した名勝負を開していました。

また、ラストを飾った須貝智郎と蛇の日傘ファミリー・コンサートでは、現代人の乾いた心に、時には激しく、時には優しく響かせる自然をテーマにした歌と語りで、観客は心を和ませていました。

みんなのひろば

このひろばはみなさんのページです。
話題や意見、作品など、ご自由にお寄せください。

■連絡先 役場総務課文書広報係へ
☎67-2111 (内線216)



菅井 建精さん
大谷三
薰さん



これまで積み上げてきた自らの威厳性を主張し、夫婦生活は当然のこと『亭主閑白』と豪語する建精さん。新婚旅行のオーストラリアから値切りに値切って購入してきたという超特大のコアラとカンガルーのぬいぐるみに囲まれながら語ってくれました。

なるほど亭主閑白。薰さんを「かお！」と呼ぶ建精さんに対して、「ファミコンソフト桃太郎伝説のキングボンピーにそっくりなんで“たつボン”って呼んでます」と薰さんもにっこり。建精さんの表情もこの時ばかりはほころんでしまいます。

そんな建精さんの趣味は、薰さんをはじめ誰もが絶賛する専らの芸術鑑賞家。一方、薰さんの特技は洋裁・和裁と料理という世の男性方なら誰もがうらやむ女性。「その中でも一押しのがショートケーキ！」と建精さんも絶賛。

二人の幸せを分けてくださいとは言いません。今度ぜひ、その絶品の味をほんの少しでもおすごそ分けくださることを、たつボンは許してくれるか。

全員大爆笑でした	園児C 「あれ？」	園児B 「私、二ワトリどしだよ」	園児A 「お昼寝がはじまる前に」
	園児C 「私、二ワトリどしだよ」	園児B 「ぼく、ヒツジどしで、	園児A 「先生なにどし生まれ？」
	園児C 「あれ？」	園児B 「ぱあちゃんはトリどし	園児A 「ウサギどしだよ」
	園児C 「あれ？」	だよ」	園児A 「私のお父さんもウサギ
			どして同じだよ」



すてきな仲間たち

のっこみクラブ



完成されたゲーム&スポーツ！毎日が勉強です！

『のっこみ』とは、ヘラブナが産卵のため岸辺に寄ってくる様子のこと。このヘラブナの魅力に捕われて集まった会員が現在8人。月に1回の例会でヘラ談議に沸きを沸いています。馬神ダムを本拠地とする『ヘラ釣り』専門の仲間で、①返しのない針を用い→②ヘラブナにやさしく→③よって地球にもやさしい、根っから朝日町を愛する純粋な若者の集まりです。

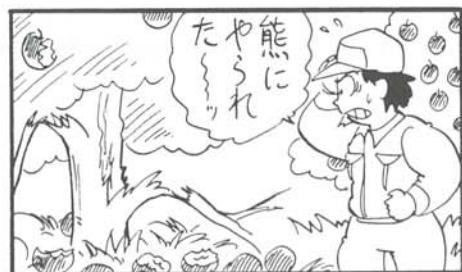
ヘラ釣りのすばらしさ…。それは微妙な引き具合とその引きの強さ、そして何よりもヘラブナとの駆け引きがたまりません。ヘラは人間よりも頭がいいと脱帽しつつも、大自然を相手に四季を問わず、日夜猛勉強中。新入会員歓迎。若い女性であればなお大歓迎です。

(代表 阿部幸治 ☎68-2505)

せんせい
水本幼稚園学級
あ・か・ね

となりのワソコさん

作・ホリイ (93)



ひとことトーク

ゴムボートで大自然の魅力を満喫!

～最上川ゴムボート大会

3位入賞～



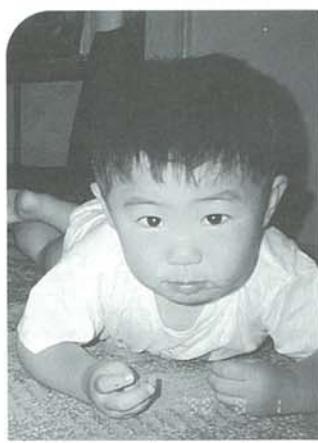
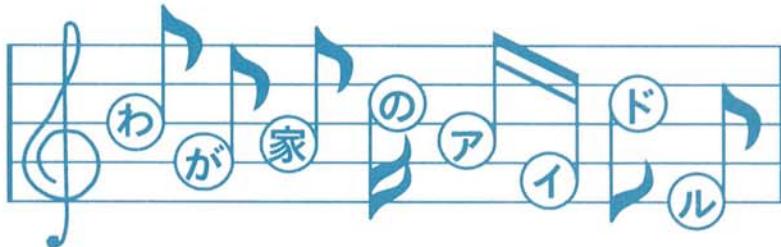
長岡和之さん
(大谷三)

第一回最上川ゴムボート下り選手権大会で、志藤正紀さん(川通)とペアを組み三位入賞を果たすことができました。

家族との触れ合いの時間を持つために、レクリエーション感覚で今年から始めてみたゴムボートなので、この成績には大変満足しています。

ただ一つ悔いが残るとすれば、八天橋目前でトップに出たとたん転覆したことです。魔物は自分が心に住んでいて、欲を出すとうまくいかないことを実感しました。

最上川で最も激流のポイントを持つ朝日町。ホワイトウォーターフォール(流れの急な所)に挑戦したり、ビールを飲みながらのんびり紅葉を楽しむのも最高です。皆さんもゴムボートを始めてみませんか。



遠藤 迅くん(2歳・栗木沢)
(両親は秀昭さん・輝美さん)



渡邊美栄ちゃん(1歳・能中)
(両親は政一さん・きよみさん)



阿部 駿くん(1歳・常盤)
(両親は勝利さん・春美さん)



松田千知ちゃん(1歳・長沼)
(両親は英二さん・千明さん)

「パチパチ拍手」

野の花工房におじゃまします

農園ゴーシュ

(夏草)



自然のぬくもりが伝わってくるリース



草花やハーブでいっぱいの工房

園主/北村 晃二さん
淑子さん
ポチ

▼工房を始めたきっかけを教えてください。

主人と一緒に朝日町でりんご作りを始めて二年目になりますが、りんごの仕事以外に自分がやつてみたいと思い始めました。これまで消費するだけの生活でしたから、これから自然の中から何かを作りだそうとハーブ（香草）を育て、リース（西洋の花環）を作ることを始めました。

▼北村さんのリースの特徴は？

りんごの徒長枝から木の実、野草、全て畑や野山にあるもので作っています。仕事の合間にリースの材料を集めたり、ハーブの手入れをしたりして、気分転換にもなるし、りんごの仕事も楽しくなってきました。

▼先日のフリー・マーケットでは大変好評でしたね。

ワイン飾りを五十個用意したのですが、売りきれてしまいました。また、展示したハーブにも興味を持つてもらえて、とても嬉しかったですね。

▼これから目標を教えてください。

私の工房はまだ生まれたばかりですから、やりたいことはたくさんあります。ハーブ染めもやってみたいし、リース教室等もできたら素敵ですね。

よくわかる「エコミュージアム」入門

(15)

くらしの中にあるエコミュージアム「食文化」

お盆礼に他家を訪問すると、必ずといっていいほど「昆布巻き」や「ぜんまいの煮物」、「からい煮」「なすやきゅうりの漬物」などでもなしを受けることが多いものです。これらは朝日町のお盆における行事食です。お正月やクリスマス以外に、特定の料理を作らない東京などから帰省てくる人々にとっては、ふるさとの味であり、口にしてやつとホツとするおふくろの味なのかもしれません。この行事食も先祖から受け継がれてきたジアムのひとつです。

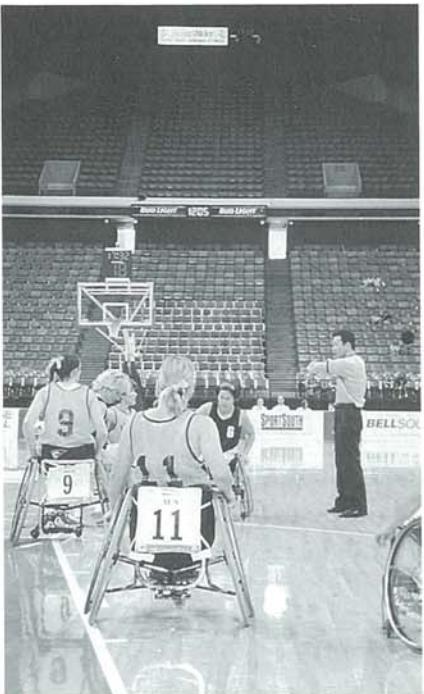
お正月にはじまり、春の彼岸、お盆、秋の彼岸、さらにはお祝い事や村の祭礼にはお赤飯や餅も加えられ、四季折々の野菜や山菜が中心にだされます。生野菜の全くないお正月や春の彼岸には、根野菜、ふきやわらびなど山菜の塩漬け、ぜんまいなどの干物などが主となります。自然のサイクルに合わせた料理の数々に、多くの知恵や工夫を見ることができ、すばらしい食文化に感嘆してしまいます。



ふるさとの料理

また、行事食は来客者をもてなす料理であると同時に、仏様に供える料理でもあります。ご先祖様を大切にまつっているからこそ、行事食も今に伝えられているのかも知れません。しかも精進料理しかあげられない仏様のお膳は知恵が問われてきます。「お盆は四日で終わつんと、彼岸は何あげたらいいか、わがんねぐなるなよ。」と料理上手、主婦歴四十七年のAさん（七十二歳）は語ります。

先人たちは新鮮な野菜や保存食をそれぞれ存分に生かし、知恵を絞りすばらしい食文化を築いてきました。先祖をまつるとともに、すばらしい食文化のエコミュージアムをぜひ子供たちに伝えていきたいのです。
(朝日町エコミュージアム研究機構)



写真右で判定しているのが佐藤さん
新人らしからぬ冷静な判断で判定をくだす

米国人のボランティア精神に感激

佐藤光也さん（小原）が米国アトランカ「パリソーピック」バスケ審判で参加

Q 車椅子バスケットボール競技では、何チームの参加と何試合審判を務められましたか。

男子十一、女子八チームの参加があり、男女五ゲームの審判をしました。中でも、男子準々決勝のオーストラリア対オランダ戦では勝ったチームがメダルに届くこともあって、終始白熱した試合でした。自分ではまだ納得のいく内容ではありませんでしたが、大会関係者には、初参加でありながらいい判定だったと言つてもらいました。

世界で約百三十人います。内、日本人は五名いますが、わたしは昨年取得して百二十二番目です。今大会は日本から二人派遣されました。取得二年目で参加できることは、信じられないくらいラッキーだったと思います。

Q 体の不自由な人に対する配慮ないことが一番辛かつたです。
という面ではどうでしたか。

どの施設もエレベーターやスロープが完備されていました。また、会社員の人たちが大会ボランティアのために平然と三週間も休暇を取るには驚きました。日本との意識の違いを痛感しました。

Q 次大会へ向けての抱負をお聞かせください。

自分の願いどおり参加できるか分かりませんが、体力の強化と早口の英語を分かるようにして臨みたいと思います。

本町

鈴木 紀くん
(宮宿小学校3年)
碧くん
(6歳)
奏くん
(9ヶ月)

おじいちゃん
彦治さん
(71歳)
おばあちゃん
テイさん
(70歳)



（70歳）

ぼくのおじいちゃん、おばあちゃんは、朝早くおきて田や畑の仕事をしています。もやラ・フランス、なしのほかにいろんな野さいも作っていますので、ぼくたちもいろいろ食べられます。ぼくは、いちごやなしが大好きです。

おばあちゃんは、ぼくが学校から帰ってくると、いつもおやつを用意してくれます。おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも長生きしてください。

一
紀

くらしの知恵袋 ④

りんごの季節になりました。町の特産のりんごを使ったお菓子や料理を作つてみましょう。

りんごのワイン煮

=材 料=	
りんご（紅玉）	3個
赤ワイン	1カップ
白砂糖	70~80 g
レモン汁	小さじ2
水	1カップ
生クリーム	少々

①紅玉りんごの皮をむき、8等分に切って、すぐに塩水につけておく。

②なべに分量の赤ワイン、砂糖、レモン汁、水を入れ、砂糖がとけたらりんごを入れ、アル

ミホイルで落としふたをして煮る。汁がひたひたになるくらいまで煮つめる。
③そのままさめるまで汁に浸して保存する。好みによ

って生クリームを飾っていただきます。
コツ：なべはホーローを使う。りんごは紅玉がよく赤
く色がつくが、ジョナやフジでもいいでしょう。

りんご入り栗きんとん

①りんごはサイコロ状か、小さいいちょう切りにし、

砂糖とレモン汁で透き通るくらいに煮ておく。
②さつまいもを水と①の汁で煮て裏ごし、なべで好

みの分量の砂糖と練り、りんごを入れる。
③栗の甘煮を合わせてできあがり。栗だけのきんとん
より、りんごが入るとさっぱりして美味しいと思
います。ぜひお試しください。

りんごを使ったお菓子や料理

朝日中学校生徒が選んだ 『まちのたからもの写真展』開催



各地区 2 点ずつの宝物が展示されました。

「まちのたからもの写真展」が 8 月 10 日から 16 日までの 9 日間、楽生観（旧朝日歯科医院）で行われました。

これは、朝日町エコミュージアム研究会が中心となり開催したもので、すばらしいものばかりです。

候補地の選定には、朝日中学校生徒に自分たちの住んでいる地区的宝物を探し出してもらい、その中から各地区毎 2 点にしほったものです。どれも地区の生活や歴史に定着したすばらしいものばかりです。

見学に訪れた方は「朝日町に住んでいますが、分からぬ所がたくさんありました。歴史的にすばらしい宝物が多いですね」と驚いていました。

ぜひみなさんも、身近な所から探してみてください。きっとすばらしい宝物が見つかるはずです。



息の合ったパドルさばきが激流を乗り切るコツ



上手に焼けたパンにおもわず拍手

一斗缶は即席オーブン

小学生グリーンスクール

農業の役割や素晴らしさを学んでもらおうと、農業研究所で 8 月 7 日小学生グリーンスクールが行われました。

今年で 3 回目となるグリーンスクールは「農産物の加工」をテーマに行われ、パンや桃のジャム、タンポポの根のコーヒー作りにチャレンジ。

町内からあつまた 18 人の子供たちは、はじめてのパン作りとあって、イースト菌によりパン生地が膨らんでいく様子にびっくりしていました。

昼食は、一斗缶の即席オーブンで焼いたパン。中には黒く焼けすぎたものもありましたが、早速ジャムとコーヒーで試食をし、「世界でたった一つの手作りパンは最高」とおいしそうにはほお張っていました。

午後からは白川広之指導員によるネーチャーゲームが行われ、身近にある自然を学び親しんでいました。

たった一日の体験でしたが、農業や自然に関心を持つきっかけになることを期待しています。

激流に挑戦！

第一回最上川ゴムボート選手権大会

二日前の雨の影響により開催が心配された、第一回最上川激流ゴムボート下り選手権大会が二十五日、県内外から二十三チームが参加し、雪谷河原から明鏡橋までの約八キロで行われました。

今回は、二人乗りのゴムボートで、一齊にスタートするタイミングマッチレース。

絶好のボートコンディションで、午前十一時の花火を合図に一齊にスタート。カヌー経験者が絶妙なスタートを切り一気に差を広げたボートや、係員から押してもらいやつと進んだボートもあるなど力量はさまざま。

転覆したり、後ろ向きになるボートが続出する中、強豪を押しのけ、見事三位に入賞した地元チーム「最上川フロンティアズ I（志藤・長岡ペア）」は、「トップに躍り出たとたん転覆してしまった。敵は自分の心、欲を出してはいけません」と悔しがっていました。上位の入賞チームは次の通り。（敬称略）

▼①コール C C 1（田中要一・多田英之輔、山形市）②コール C C 2（斎藤英司・前田昌明、尾花沢市）③最上川フロンティアズ I（志藤正紀・長岡和之、朝日町）



大沼の浮島でさわやかな汗を流していました



大暮山大塚のモモ畑で捕獲された熊

町の良さを再発見！第6回ウォークラリー大会

町の名所を歩いて楽しみながら学ぶ「第6回年輪ピックウォークラリー大会」が8月26日、大沼の浮島湖畔で行われました。

参加したのは町内の長寿クラブのみなさんで、38チーム114人が出場。優勝をめざし、若者に負けない健脚ぶりを發揮していました。

参加者の中には「大沼の浮島に来たのは小学生以来です。すばらしい景色を見たり、知らなかった歴史を学ぶことができました」と町の良さを再発見していました。



ヤマメの燻製に挑戦！

北部地区の男性たちの交遊塾料理教室が8月11日、秋葉山交遊館で行われました。今回のテーマは「ヤマメの燻製に挑戦」で、講師を置かず知恵を出し合い料理するものです。

参加した14人は、慣れた手つきでヤマメや夏イカをさばき、ドラム缶で作った即席の燻製器で燻しあげました。燻製チップには、リンゴの里にちなんでリンゴやナラを使用したこだわりのある男の料理で、試食した皆さんからは「最高に美味しい」と好評でした。

問題

問1

問2

問3

右の写真は何岳？

標高何メートル？

写真中央部の雪渓は通称

何字雪渓と呼ばれている？

（9月30日締め切り）

〔応募方法〕

〔広報あさひまち〕の折り込

みハガキに、答え・住所・氏名・

年齢・電話番号を記入して送つ

てください。正解者の中から抽

選で三人の方に、図書券をプレ

ゼントします。

また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。
お願いします。

熊出没！山に入る時は気をつけて

8月3日の早朝、大暮山大塚のモモ畑に熊が出没し、猟友会が捕獲しました。

この熊は推定年齢4歳の雌、体長が1メートル25センチ、体重60kgの月輪熊。7月下旬から出没し、農作物に被害を及ぼしていたもので、モモを食べに来たところを捕獲されました。その他にも大暮山や今平、松程で出没が相次ぎ7頭捕獲されています。

これから秋の収穫期に入りますので、山に入る時は十分注意してください。



合同句集「ときわ木II」を出版

常盤公民館で毎月1日に定例句会を開催しているときわ木俳句会が、2冊目の合同句集を8月1日に出版しました。

「ときわ木II」は、先に死去した会員の長岡草央子さん（本名：英五郎、赤釜）の追悼号として特集を組み、草央子さんの遺作と会員の悼句を載せたいずれも名句ばかりです。

一部を町立図書館に寄贈していただきましたので、ご一読をお勧めします。



図書券が当たる





■8月1日~31日届出



すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	保護者名
大谷二 太郎三 八ツ沼 宇津野 大町	白田翔 長岡 阿部 佐藤 長	敏彦 雅忠 忠浩 浩帆
	樹 朗 真 浩	之勝 忠 一 佳
		彦 忠 浩



あしあわせに

(婚姻届)

川村 (舟渡)	進 ♥	金寶姫 (韓国)
布施 (助ノ巻)	賢一 ♥	大阪谷丘利子 (宮城県)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
沼沢 大船 真大 木中 中町 中沼 程原	菅井宗治 藤正博 佐堀好次 鈴木正鉄 木田遠治郎 林民治郎 木野とお 木野あつ 木野おま 木野松	利春 彌次郎 浩吉 次浩良 幸雄 一喜代 一治 豊

人口と世帯数

●平成8年8月31日現在

人口	9,975(減6)
男	4,963(減5)
女	5,012(減1)
世帯数	2,588(減3)

() 内前月比

か。これ以上自然を汚さないよう心掛けたいものです。
▼暑い暑いと口癖になっていた夏が過ぎました。ふと空を見上げてみると、はるか上空の帶状の雲が、さわやかな風でなびいている天女の羽衣のように見え、秋の気配を感じられました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期。風邪などひかぬよう健康管理には十分気をつけましょう。

(岡崎)

わたしの作品

〈大暮山分校〉



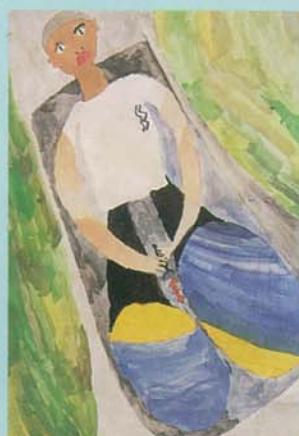
「わたしきれいいかな」
5年 阿部 優子さん



「力もちのクワガタ」
2年 川口 靖晃くん



「ふろばのぼく」
6年 阿部 雄二くん



「とばすぞ/スーパースライダー」
4年 阿部 貴喜くん



西船渡の宮本建一さん方で、八月十二日季節外れの木蓮が咲き近所の話題になっています。この木蓮は春に咲き誇ったばかり。家族も「暑さのせいいか花が焼けてしましましたが、今頃咲いたのは初めて」とびっくりしていました。

▼ウォークラリーの取材で大沼の浮島へ行つてみると、土手の方から「カサカサカサ」と物音が聞こえてきました。何だろうと思ひ見てみると四十センチ位のヘビ。びっくりさせやがってと思った反面、この頃ヘビを見かけることが少なくなったなあと感じました。

自然豊かな朝日町も、動物にとっては少しずつ住みにくい世界になってきているのでしょうか。

春 夏 秋 冬

編集後記

狂い咲き?
八月に木蓮咲く